

経営比較分析表（平成28年度決算）

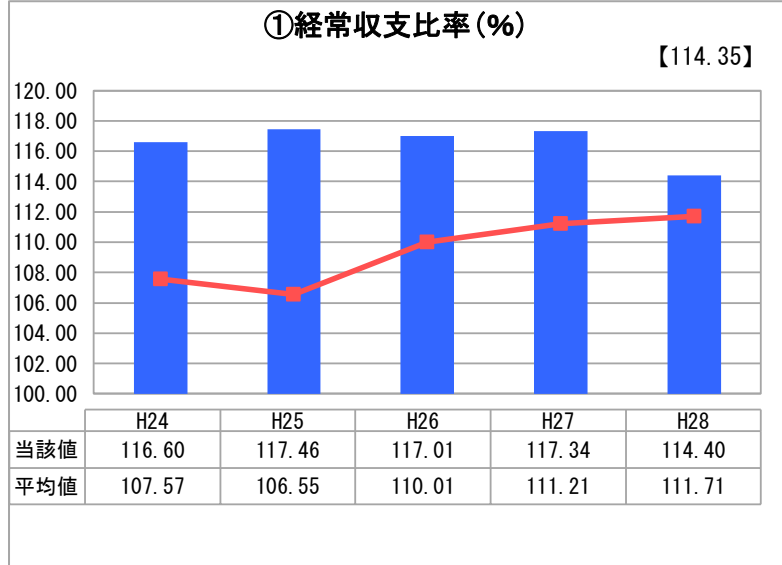
埼玉県 滑川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	87.59	99.84	2,268	

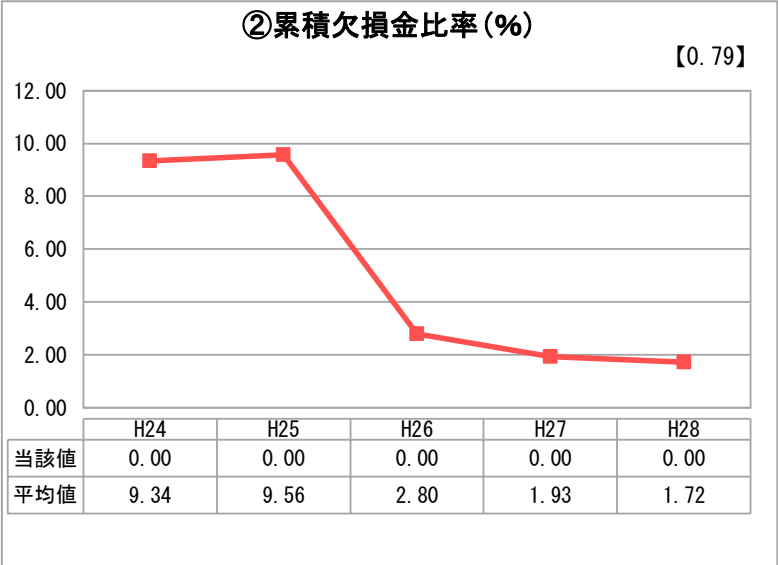
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,286	29.68	616.11
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
18,313	29.35	623.95

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成28年度全国平均

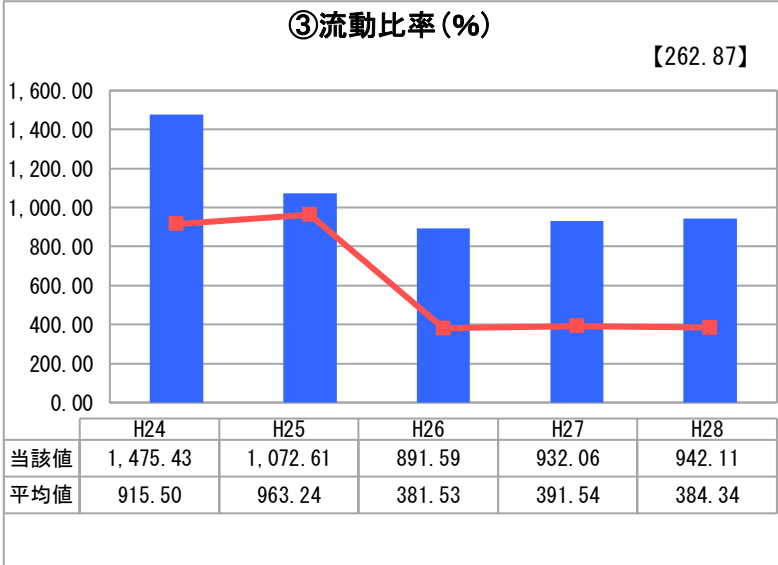
1. 経営の健全性・効率性



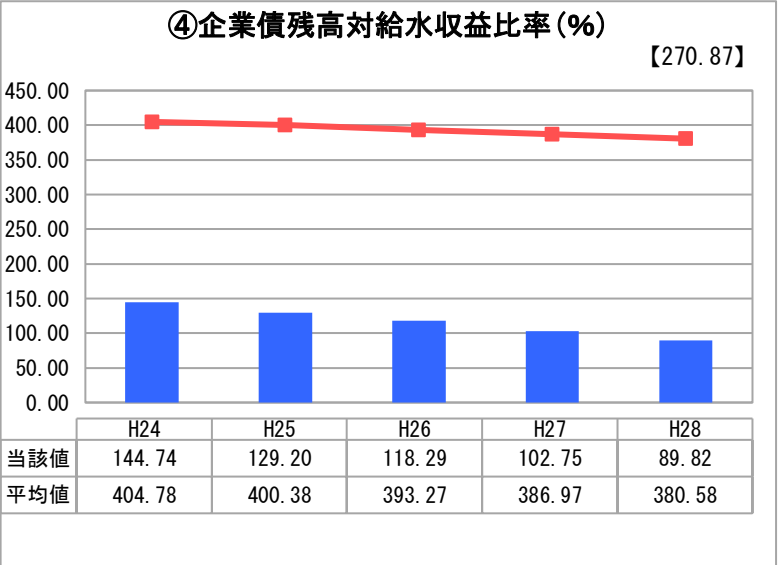
「経常損益」



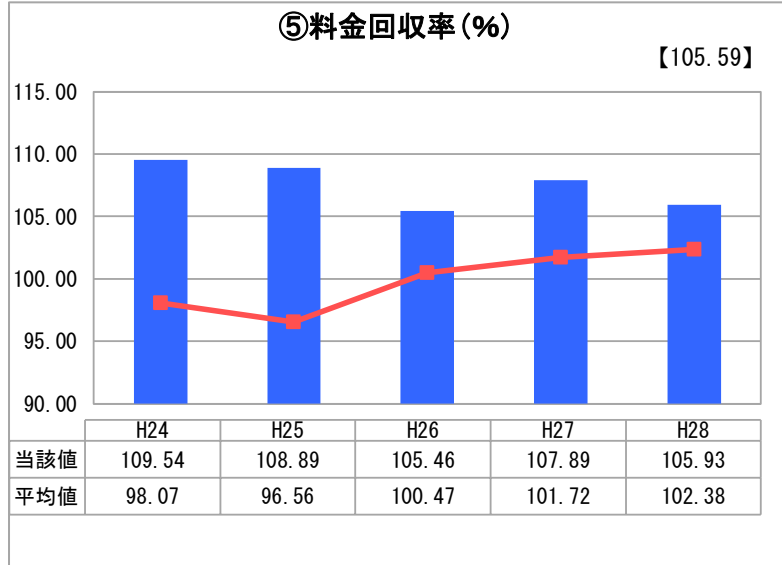
「累積欠損」



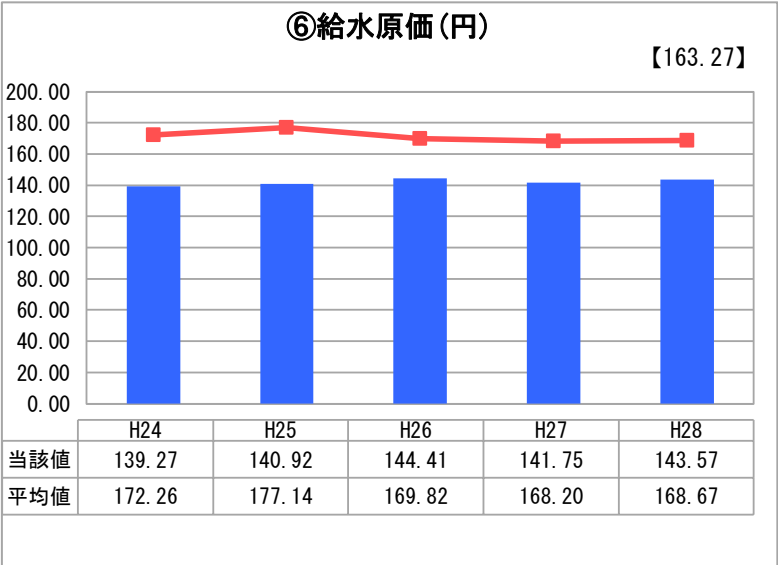
「支払能力」



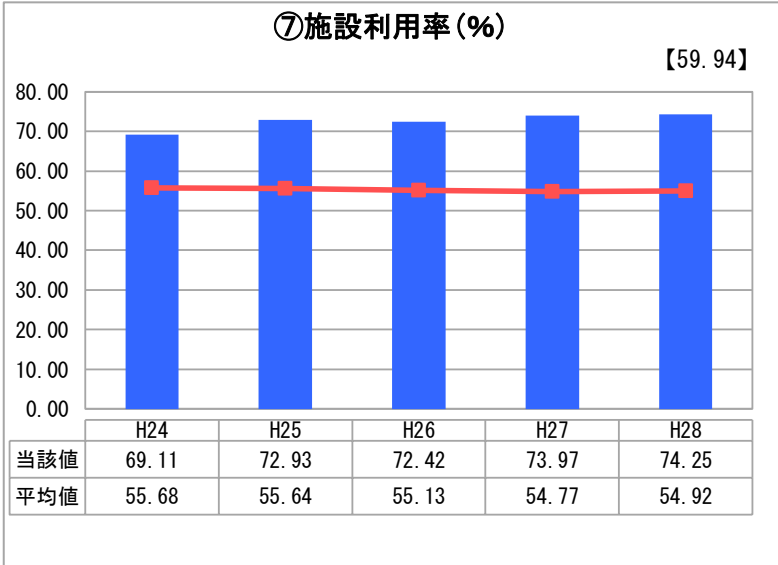
「債務残高」



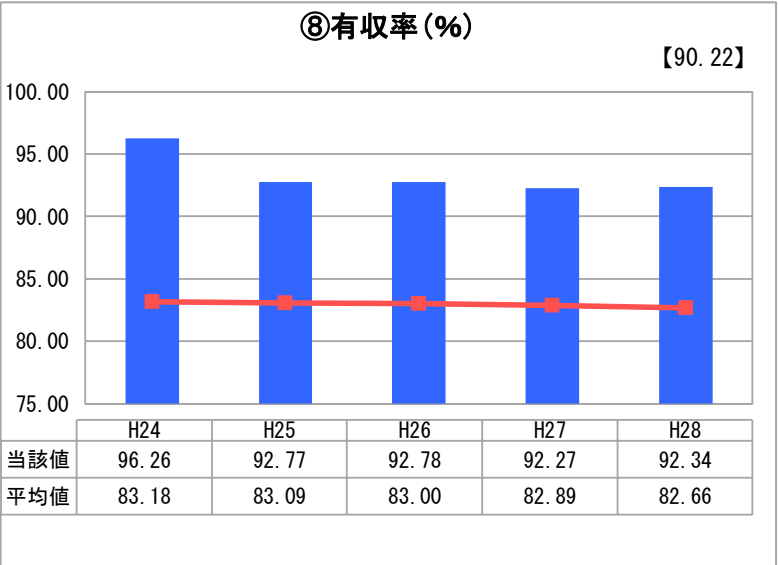
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

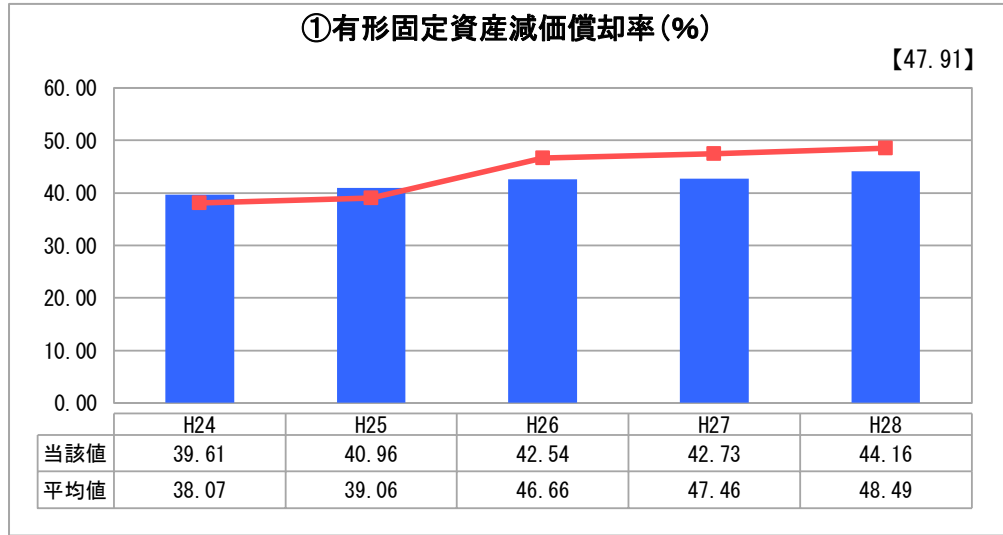


「施設の効率性」

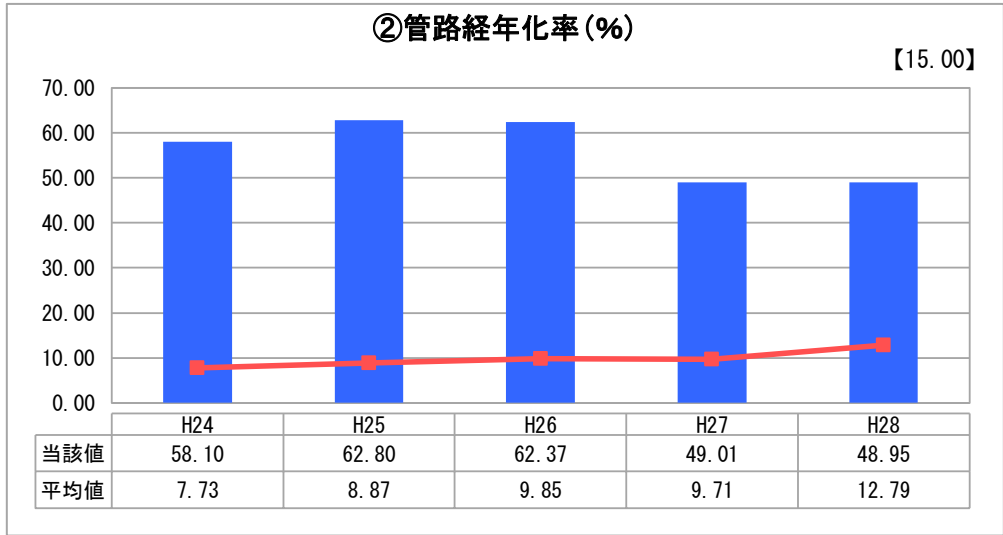


「供給した配水量の効率性」

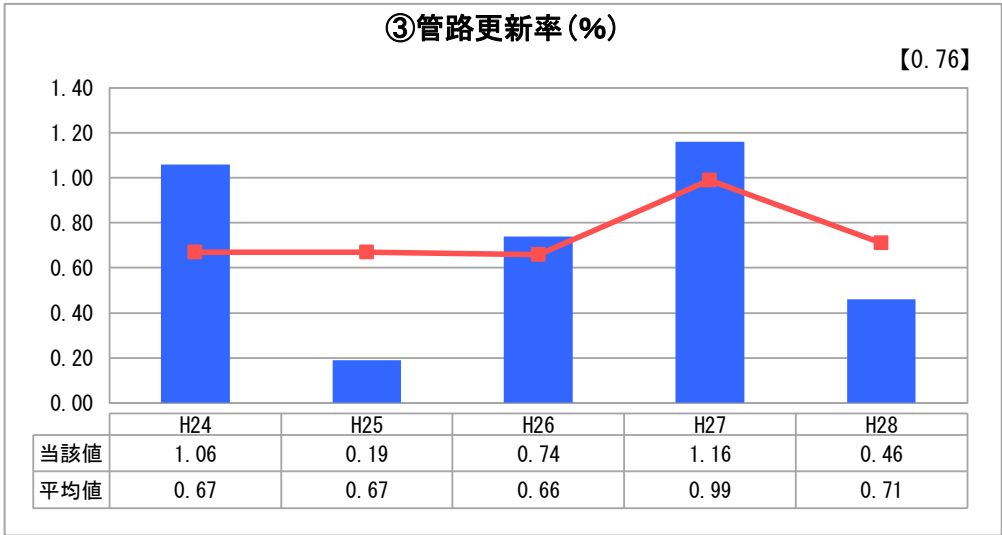
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率 平成28年度全国平均を上回っているが、前年より2.94%減となっている。給水人口は増加しているが、比率は下がっている為、今後も改善を検討する必要がある。

②累積欠損金比率 現在は0%であるため、問題はないと思われる。

③流動比率 短期的な支払能力を示す値で、類似団体平均値を上回っているため、良好と考えられる。

④企業債残高対給水収益比率 当事業は、ここ数年、借入をせず事業運営をしているため、企業債残高は減少傾向にある。

⑤料金回収率 料金回収率は100%を上回っており、給水費用については、給水収益で賄えていると考えられる。

⑥給水原価 給水1m³あたりの製造費であり、類似団体の平均値を下回っている。

⑦施設利用率 類似団体平均値を上回っているため、良好な状態である。

⑧有収率 前年度より、0.07%増加となる。類似団体等の平均値を上回っており、今後も一層の数値上昇を目指す。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率 平成28年度全国平均は下回っているが、施設の老朽化は増加傾向にあり、計画的な施設の更新等の検討が求められる。

②管路経年化率 法耐用年数を超えた管路延長の割合を示す指標であり、類似団体の平均値を上回っている。管路更新のため、更新計画を検討していく。

③管路更新率 管路更新率が、全国平均、類似団体平均よりも下回っているため、一層の管路の更新計画を進める必要がある。

全体総括

自己水源を持たない当町としましては、今後も増加する人口と水需要に対処するため、水の確保等は課題となります。

現在の当町の水道事業の経営の健全性・効率性については昨年度に引き続き順調に推移しておりますが、経常収支比率についてはやや減少しています。

また、施設、管路の老朽化の状況については昨年同様、より一層の効率的な事業運営、計画的な更新計画の策定を目指す必要があります。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。